

事業番号	09 04 06	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課	
		実施期間	S61～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現					
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成			2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進		



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	・本県の畜産は、従事者の高齢化が進み、農家数、家畜飼養頭数とも減少傾向となっている。一方で補助事業等を活用して規模拡大に取り組む農家も増えつつある。 ・経営面では、生産物価格は堅調に推移しているものの、家畜導入費の高騰・飼料価格の高止まり等が収益に影響を及ぼしていることから、経営規模の拡大による効率化や自給飼料生産を推進し、生産性を向上させ収益性を高める必要がある。
	【目指す姿】
	・畜産特別資金等への利子補給、肉用子牛の価格変動に的確に対応したセーフティーネットの運用等により安定した畜産経営を実現する。 ・畜舎等の施設整備への支援、自給飼料増産の推進により、畜産経営の収益性を向上させる。 ・ICT機器を活用した飼養管理や繁殖管理改善による生産性の向上を図るとともに、DNA評価等の新技術を活用した家畜の改良を進め、品質の高い畜産物の生産できる生産基盤を強化する。
	【実施内容】
	施設整備の支援、生乳検査、繁殖検診、ゲノミック評価、利子補給、スマート畜産技術お試し導入農場の設置、自給飼料のモデルほ場の設置 など

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越	258,411	291,375	
1	信州プレミアム牛肉の認定頭数	3,657頭	3,818頭	↑	4,336頭	↑	3,800頭	達成	現計予算	452,155	138,258
2	畜産農家(肉用牛)1戸当たり飼養頭数	51頭	51.4頭	↑	54.9頭	↑	53頭	達成	合計(A)	710,566	429,633
3	畜産農家(乳用牛)1戸当たり飼養頭数	48頭	49.2頭	↑	51.4頭	↑	49頭	達成	うち一般財源	27,175	16,748
4	乳用牛1頭当たり生産乳量	8,920kg	8,956kg	↑	8,834kg	↓	8,980kg	未達成	決算額(B)	406,677	315,626
									職員数(人)	14.19	14.19

成果指標設定理由	①信州プレミアム牛肉の生産農場の拡大及び認定率の増加傾向をもとに設定 ②、③ 畜産農家の戸数・飼養頭数等の現状から生産拡大を目指す計画等をもとに設定 ④ 乳用牛の乳量実績と産乳能力の向上から推定した生産計画等に基づき設定
----------	--

達成状況の分析	① 肉用牛のゲノミック評価による個体選抜効果が発揮されるとともに、県外での信州プレミアム牛肉の認定市場が拡大し、和牛生産者の認定意欲が向上した ②、③ 畜産クラスター事業等の活用により、規模拡大に取り組む経営体が増加した。 ④ 全国の乳用牛経産牛頭数が減少する中、県では大規模経営体の生産性向上を支援する等により経産牛頭数が増加(前年比+100頭)したものの、若い牛の比率が高まったため、乳用牛1頭あたり生産乳量は微減した。
---------	--

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信州プレミアム牛肉の銘柄向上 <ul style="list-style-type: none"> ・第3回信州プレミアム牛肉オール信州共進会in京都(11月16日) ・昨年度に続き、東京食肉市場へ生体の県産和牛合計37頭を出荷(9月～3月) ✓ 先端技術の導入による生産性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート畜産の推進 ICT機器を貸し付ける「お試し農場」を4ヶ所設置し、効果を実証 ・高品質な牛づくりの推進 酪農・肉用牛の生産基盤の強化に向けて、県内の優良遺伝資源を積極的に活用 	 <p>ビデオメッセージで知事がPR</p>  <p>牛の首にセンサーを装着</p>
------	--	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大や従事者の不足に対応するため、家畜の飼養管理の労働時間の削減が必要。 ・地域の関係者が連携し、地域ぐるみで畜産の収益性の向上やコスト削減等を進めることが必要。 ・消費者が安全・安心を共感できる、持続可能な生産・流通体制づくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやIoT等を活用した「スマート畜産技術」を推進し、労働生産性の向上を図る。 ・畜産クラスターの形成を促進するとともに、中心的な経営体の施設整備等の取組を支援。 ・農場等におけるHACCPの導入やバイオセキュリティ対策の徹底を図るとともに、信州プレミアム牛肉をはじめとした県産畜産物のブランド力を向上させる。

事業番号 09 04 06 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	畜産振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	--------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	畜産特別資金利子補給事業	831 千円	879 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	利子補給事業	補助金	14経営体の農業者が借入れている畜産特別資金について、資金の貸付けをしている6つの融資機関に対して利子補給を行い、借入者の償還負担軽減を図った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	肉牛の放射性物質検査事業	7,529 千円	192 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	肉牛の放射性物質検査	直接	自主検査を実施していた33県すべてにおいて令和元年度末に全頭検査を終了。検査機器について、他の利用法がないこと、耐用年数を過ぎていること等から、処分を行った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	自給飼料生産基盤活力創出事業	1,492 千円	838 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	推進事業	直接	飼料用とうもろこし（1カ所）及び牧草（2カ所）の展示ほを設置し、優良品種導入促進を図った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	畜産振興施設整備事業	353,815 千円	276,547 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	畜産振興施設の整備	補助金	畜産経営の規模拡大、収益性の向上のため4経営体が計画した施設整備（牛舎等3棟、堆肥舎2棟、飼料調製施設1棟、搾乳施設2棟ほか付帯設備）を支援した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
5	肉用子牛生産安定特別対策事業	1,914 千円	2,106 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	価格差補てん金の造成	補助金	肉用子牛の価格下落時に交付する補給金の財源である積立金の造成を補助した。また、当該事業の推進に係る助言・指導等を行った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
6	食肉流通合理化計画策定事業	321 千円	156 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	検討委員会の開催	直接	前年度に引き続き検討会を1回開催し、本県食肉流通の合理化に向けて計画案の取りまとめを行った。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
7	信州プレミアム牛肉流通拡大推進事業	241 千円	31 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	信州プレミアム牛肉定期便による「定期・定量」出荷およびPRの実施	直接	昨年度に続き、東京食肉市場へ生体の県産和牛合計37頭を出荷し、うち16頭が信州プレミアム牛肉に認定された（9月～3月）

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
8	乳用牛群検定普及定着化事業	347 千円	406 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	情報提供（加工・分析）事業	直接	牛群検定実施農家79戸に対し、分析結果を毎月情報提供した。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
9	酪農生産性向上対策事業	5,334 千円	5,905 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	牛群ドックの実施	直接	牛群ドックを51戸908頭について実施し、結果を分析して関係者で生産性向上のための検討会を実施した。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
10	優良後継牛確保促進事業	3,764 千円	4,287 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	体外受精卵の生産と供給	直接	黒毛和種雌牛（と畜卵巣含む）に対して、OPU（経膈採卵）や体外受精技術を活用して、29個の体外受精卵を生産した。そのうちの一部を畜産試験場の受精卵牛に移植し、4頭の受胎を確認した。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
11	家畜改良推進指導事業	1,710 千円	1,502 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	種畜検査の実施	直接	牛（黒毛和種）8頭、豚3頭、馬3頭について種畜検査を実施した。

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
12	農場H A C C P 実践拡大支援事業 （安全・安心畜産サポート事業）	3,563 千円	3,254 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	農場の衛生検査	直接	Supreme 4 農場、Special 7 農場、Standard 130 農場に対して延べ検査検体数2,892の衛生検査を実施し、4,336頭の信州プレミアム牛肉認定の安全・安心を担保した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
13	信州こだわり食肉生産推進事業	11,519 千円	8,956 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	牛肉、豚肉、信州黄金 シャモの生産体制の整備	直接	豚精液は、豚熱発生の影響により生産を休止した。信州黄金シャモは、12農場に対して16,149羽のヒナ供給をした。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
14	信州プレミアム牛肉生産基盤強化対策事業	8,075 千円	7,995 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	肉用牛の改良増殖	直接	県内黒毛和種雌牛のうち遺伝的能力に優れる2頭を畜産試験場に導入し、過年度導入牛等と合わせて黒毛和種体内受精卵を50個生産した。(一社)家畜改良事業団との連携による種畜生産に向けて、20頭のゲノミック評価を実施した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
15	スマート畜産普及推進事業	3,853 千円	1,528 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	スマート畜産の普及推進	直接	牛群管理システム及び分娩監視システムについて、酪農経営各2農場でお試し導入を行った。この結果、繁殖成績の向上や、分娩監視時間の大幅な削減等の効果が確認された。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
16	養豚生産力強化支援事業	2,269 千円	944 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	高収益型養豚経営の確立	直接	7戸について疾病発生状況調査等を実施し、生産性向上対策を指導した。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
17	中型家畜生産・利用推進事業	100 千円	100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	中型家畜生産・利用推進	直接	肥育素畜として4頭の雌羊を農家へ供給した。